

月面の水資源探査技術（センシング技術）の 開発・実証に関する取扱いについて

2025年1月27日

総務省

月面の水資源探査技術（センシング技術）の開発・実証に関する取扱いについて

- ✓ 「月面の水資源探査技術（センシング技術）の開発・実証」については、JAXAにおいて公募し、審査会において審査した結果、「ある程度類似性がある領域間の水資源存在の有望度の比較がたとえ可能だとしても、**月面の水・氷含有量の推定分布の取得が達成される見込みがない**」こと等を理由として採択なしとなっている。
- ✓ これを踏まえ、本件について、1月20日に開催した**総務省宇宙通信アドバイザリーボードにおいて審議を行い、技術的に実現可能である見通しが高い水準に目標を再設定**する形で**実施方針を見直す**ことが提案された。
- ✓ 総務省としては**月面における水資源を含めた資源の存在状況の把握は非常に重要**であると考えているところ、以下の案の通り**実施方針を改定し、再公募を行う**ことが案として考えられる。

実施方針の主な改定内容（案）

【テーマの目標】

- ✓ **テラヘルツ波センサシステムのみで月面の水・氷含有量の推定分布の取得を行うのではなく、他の観測データ等と組み合わせる手法を開発し有望箇所を推定することを目標として明記**する形に修正。

【技術開発実施内容等】

- ✓ **他の探査手法による観測データ等と適切に比較検証する手法を採択後1年程度を目途に開発することを明記し、この計画を有することを審査・評価の観点に追加**することで、**他の観測と組み合わせた解析を確実なものとする。**
- ✓ 他の探査手法等に係る知見を有する者等との**連携を適切に確保することが一層重要**になることから、**技術開発実施体制**として、研究開発のプロセスに関与する関係者との間で**適切な連携を確保した体制を構築していることを明記。**

＜参考＞

- 支援規模：64億円/1件程度（改定なし）
- 支援期間：4年間程度（改定なし）